

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email : zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

・平成17年度研究開発交流会の開催

芝 忠

10月28日(金)中小企業センター会議室を借り切って「平成17年度研究開発交流会」という産学交流会を、独立行政法人中小企業基盤整備機構(旧中小企業総合事業団)の補助事業として行います。昨年度も2月に「中小企業と大学との共同活動」として開催したものです。本年は、①「まんてんプロジェクト」が各地で活動している航空宇宙関連企業を集めた全国大会②「野毛地域」や「関内地域」に関連した商業活性化の課題③「道路舗装」に関連した「環境舗装技術」④シックハウス症候群などの住環境問題、について分科会方式によりそれぞれ並行して開催します。この事業の補助金は中小企業異業種交流財団から直接会場費や大学・研究機関関連の講師謝礼として支払われ、異グ連には入りませんが、異グ連プロジェクト事業の後押しとしては大変有効です。

宇宙航空産業の中小企業グループの全国大会は、日本で初めての取り組みで文部科学省や宇宙航空研究開発機構(JAXA)も注目しています。当日はJAXA側から中小企業向けの技術提案募集内容が提示される予定ですので、これ自体も注目されることです。同時に全国各地で取り組まれている小型ロケット打ち上げや、人工衛星打ち上げの中小企業集団が一同に会することによる国民運動的な広がりが、日本の宇宙関連予算増大へと繋がれば目的達成ということ。先日も(9月1日)関東経済産業局企画課の久世課長補佐と高見沢係長の2人が調査に来られ、何故取組を開始したのかなど国の支援策についての要望を聞かれました。まんてんプロジェクトの最近の実績は高い評価を受けています。

その他のテーマも時代の要求を反映していますので、それぞれ面白い取り組みになると思います。ぜひご参加下さるようお願いします。時間は午後ですが、JAXAの技術紹介は午前に行います。

産学官交流サロンのコーナー

<p>9月21日よこはまサロン 防災特集 「崖崩れ危険地帯データベース」 横浜国立大学工学部 佐土原教授 「防災と地域のコミュニティ」 スターリョウゾンス 持田 剛氏 「事故原因の究明と再発防止」 日立湘南ビジネスセンター 福田祐二氏</p> <p>日時：9月21日(水) 18:00～ 場所：横浜エクセレントⅢビル9F 参加費：1000円 問い合わせ・申し込み： かながわ異グ連 045-633-5142 fax 横浜加事務局長 045-212-5547</p>	<p>8月29日かわさきサロン (報告)</p> <p>8月29日(月)に、川崎サロンをKSPで開催しました。今回の話題は「安心ハウス」と「地域福祉」でしたが、福祉活動現場の状況報告と新しい民間福祉施設の建設構想が紹介されました。民間で出来る事は民間でやるを目指して、暖かな介護、心の籠ったサポートを実現し、自力で回せる福祉施設建設を目指して頑張っているオーナー経営者をサロン参加者から励ましの言葉が相次ぎました。</p>	<p>9月22日よこすかサロン 居酒屋ラリーー！！ 今回は横須賀サロン10回記念として「居酒屋ラリーー」を企画いたしました。2軒の居酒屋をハシゴして最後にゴール店に集合し、店の品評をしながら3次会を行うというものです。(面白いですよ!!) 日時：9月22日(木) 18:00 集合 場所：神奈川新聞横須賀支社5F 参加費：3,000円 問い合わせ・申し込み： 045-633-5142 横須賀加担当八幡 FAX045-633-5194</p>
--	--	---

尾上町サロンのお知らせ！！

新産学官交流サロンは2年目を迎えております。川崎(隔月)、横浜(毎月)、横須賀(隔月)の3箇所での開催も、それぞれの個性を生かした集まりとして、時流に即したテーマや地域に密着したテーマを話題にしての歓談の場として、定着化しつつあります。

その様な中で中小企業の経営者の皆様から「特にテーマも決めず、気の向いた時にぶらっと行って、そこに来ている人たちと気楽に歓談できる場が欲しいなー！」との声を頂いておりました。

神奈川中小企業センター5Fの異グ連事務所に「尾上町(オノエチョウ)サロン」を開設しました。予約も要りません、本当に気楽にぶらっとお出でください。

開催日：毎月第一・第三金曜日 pm5:30～

(9月は2日、16日、10月は7日、21日、11月は4日、18日、12月は2日、16日)

場所：神奈川中小企業センタービル 5F 神奈川県異業種グループ連絡会議事務所

会費：500円(現物支給でも構いません)

かながわ異グ連主なプロジェクトの状況

オールディーズ・シニア・クラブ 介護保険のABCについて

小林BC

段々と歳を重ねると、身体が思うようにならず、又、病に倒れることがあると、家族に重い負担をかけるようになります。最悪の場合は、本人と看護人が共倒れするという悲劇を招くこととなります。このような時、介護保険のサービスを受け、家族や知人の負担を軽くすることを是非とも考えたいものです。

幸い、当クラブの会員である福田氏が介護保険サービスの会社を立ち上げて2年目を迎え、軌道に乗っております。そこで、介護保険サービスの受け方のノウハウを伺う講演を8月19日の定例会でお願いしました。身につまされる話題など熱心な質疑応答で時間が足らず、皆さんの強い要望で次回(9/9)もお願いする事になった。知っておくと役に立つABCをいくつか挙げてみました。

1) 介護保険の対象者(横浜市の場合)

①65歳以上の市民全員・・・介護が必要になったら原因を問わず要介護認定を経て介護サービスが利用出来る。
(第1号被保険者)

②40歳～64歳の医療保険加入の市民全員・・・加齢によって起こる病気(国指定15種類)が原因で介護が必要となる状態となった時に、要介護認定を経て介護サービスが利用出来る。
(第2号被保険者)

2) 要介護認定の申請書作成・・・介護サービス会社のケアマネージャーに書いてもらうと便利。

3) 医師の意見書が必要・・・大病院だと日数がかかるケースが多いので、町の主治医のほうが小回りが利く。

4) 在宅サービスには14種類ある・・・介護、福祉用具のレンタル・購入、住宅改修など色々ある。

5) 施設・・・特別養護老人ホームは10年待ち。有料ホームは空いている(保証金2,000万円、30万円/月と高額なため)

6) 住宅改修費の9割払戻し・・・一旦全額を支払い、申請で9割払戻しを受ける。上限は20万円。

[紹介] 福田氏の会社「まごの手介護サービス」横浜市南区吉野町2-4 アタゴビル403 TEL:045-252-6051
お気軽にお問合せください。 以上

日韓ビジネス協議会

高橋BC

第57回(8/31)日韓ビジネス協議会は参加者16名で(株)高井精器の工場見学を行いました。

<(株)高井精器の事業内容>

小径・ミニアチュア軸受保持器の製造販売、樹脂すべり軸受・樹脂ベアリングの製造販売、機械加工品・精密金型の製造販売、小物プレス加工品・樹脂射出成形品の製造販売 <http://www.tki.ne.jp/>

次回の第58回・日韓ビジネス協議会の開催予定は下記の通りです。

1. 日時：9月28日(水)午後3:15～5:15以後懇親会
2. 場所：神奈川中小企業センター：5階・会議室
3. 会費：1,000円(懇親会費を含む)
4. メイン講演者：追って連絡致します。

関心ある企業の参加を歓迎致します。参加時には事務局の高橋まで連絡して下さい。 Tel:045-311-0094

e-mail:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。

9月定例会は9月13日(火)にNPO法人サポート倶楽部友の会の千葉新也氏に、異グ連プロジェクトからNPO法人ができた経緯や、地域コミュニティへの事業展望についてお話をいただきました。

10月定例会は10月11日午後6時半から神奈川県民センターで行います。

シフト21では皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いします。 hda00467@nifty.ne.jp

2005 国際中小企業異業種交流シンポ募集

表題の国際シンポジウムは、今年「台湾の中興大学で開催されます。

日時：10月22日（土）出発

10月25日（火）帰国

日程：国際シンポジウムは2日目

現地企業との交流マッチングは3日目

費用：3泊4日で59,800円

問い合わせ：日韓ビジネス協議会事務局

高橋道徳 TEL/FAX 045-311-0094

4

9月末までにご連絡ください。

関内地域都市再生プロジェクト

織方BC

本プロジェクトのリーダーである（社）経営開発情報機構の河津明男氏が主催し、3月に引続き、9月28日～30日（各日9:時～21時）に開港記念会館において「デザインサミット1」が開催されることになりました。入場無料です、ぜひご来場ください。なお当サミットの芽は本プロジェクトにあります。ひとつづくり、ものづくり、まちづくりなど多角的な視点で、産学官民連携による先進的な研究開発（デザイン）や、知的財産の社会的有効活用を、シンポジウム、展示会、デザインコンペ、交流会などを通じ普及を図り、地域振興・経済発展に寄与するというものです。

まんてんプロジェクト

千田BC（JASPA社長）

●**宇宙航空産業 全国中小企業シンポジウム**の開催

全国各地において中小企業および大学等を主体とした地域連合体による宇宙航空への取り組みが盛んになってきたが、まんてんグループとJAXAが全国に呼びかけて下記によりわが国初の表記シンポジウムを開催することとなった。このイベントは異グ連と（独）中小企業基盤整備機構が主催予定の【平成17年度研究開発交流会】の一部会として実施する予定である。

①日時：2005年10月28日 11時～17時

②場所：神奈川中小企業センター 14階

③主催：まんてんグループ

④後援：（独）宇宙航空券研究開発機構（JAXA）

（予定）（財）日本宇宙環境利用推進センター

（社）ニュービジネス協議会

⑤協賛および参加団体（予定）

北海道：北海道宇宙科学技術センター、宇宙空間産業研究会

茨城：小型ロケットビジネス研究会

神奈川：まんてんプロジェクト、JASPA株式会社

長野：諏訪地域グループ

静岡：浜松航空宇宙研究会

関西：そーら事業協同組合【まいど1号】、

次世代航空機部品供給ネット

岡山：ウイングウイン岡山

広島：地域連合グループ

四国：香川大学グループ

九州：九州航空宇宙開発推進機構

●第56回国際宇宙会議福岡大会宇宙フェアへの出展

国連傘下の宇宙の平和利用を検討する国際宇宙会議が本年は福岡市で開催され、まんてんプロジェクトは出展する予定である。

新防食技術活用プロジェクト

田中（繁）BC

次回例会を9月30日（金）15時～17時30分、神奈川中小企業センター5階会議室で開催します。当初のプロジェクト目標であった横浜国立大学、朝倉教授の研究成果「黒鉛混入防食セメント」の事業化の目途が立ちましたので、新規テーマを募集しています。防食に関する技術課題をお持ちの企業の参加を求めています。

広域連携プロジェクト

田中（繁）BC

異業種グループネットワークフォーラム（INF）第7回全国大会を大阪で開催することになっておりましたが、諸事情があり、平成18年に延期開催する事となりました。

本年度の広域連携活動としては大阪府異業種グループ交流促進協議会が中心となって、10月17日（月）に「異業種グループ全国ネットワークフォーラム」大阪大会を大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10Fで、開催します。当日午後開催される研究開発交流会のセッション1「広域な異業種グループとの新連携創り」では神奈川異グ連、芝 忠理事がコーディネータを務めます。

情報 財団法人テクノエイド協会が、福祉用具研究開発助成事業（助成金）を平成17年10月1日から11月30日までの期間で募集いたします。なお、関連HPは↓

<http://www.techno-aids.or.jp/kaihatsu/index.shtml>

三浦海洋深層水を楽しむ会

石井 (君) AD

8月の定例会が8月20日(土)に開催され、今月は10名の参加者であった。

先月、「第2回海洋深層水全国フォーラム」が開催され、三浦海洋深層水を楽しむ会の協力に対し、NPO 海洋深層水協会中島代表理事から感謝の言葉を頂いた。フォーラムの交流会では参加者から三浦海洋深層水を楽しむ会に対する高い評価を得たとの事であった。今月は、フォーラムの基調講演にあった、栽培漁業に関して三浦の海洋深層水をどのように活用していくのかなど活発な意見交換があった。

また、新たにコーヒーの鑑定士が、海洋深層水でコーヒーを入れると非常においしいとのことで楽しむ会に参加された。お弁当を食べながらの懇談もあり、コーヒー鑑定士のブラジルコーヒーにこだわり、開業までの話には非常に興味のある話であった。多様なメンバーが増え、益々おもしろくなりそうである。

次回は10月15日(土) 海洋深層水活用事例の視察会を予定している。

特別寄稿アルメニアの紹介 その2の(1)

(2回シリーズでお送りします)

加藤文男BC

アルメニアは、日本人にとって余り知られていない国である。とにかく情報が少ない。今回の調査に当たっても出発前には、安全については十分注意するように言い含められた。情報が少ないためにリスクについては安全サイドに考えて判断し行動することが求められる。わからないから不安で危険だという論法だ。この論法を持って注意をしておけば、誰も責任をとらなくて良い。もし、誰かがトラブルに遭遇したとしても「だから注意したじゃないか」と言い訳に使うことができる。問題が起きなければ、言い過ぎも問題にされない。

今回訪問して首都及びイリジャン市とデリジャン市の範囲(いずれも北部の比較的大きな都市)であるが市内を歩いての危険情報について述べておきたい。もちろん国境付近は、先に記したようにそれぞれの国とトラブルが存在するので同じに考えてはいけない。また、昼間の時間帯が長い時期であったので日没が夜10時近くで暗くなってからの夜間の出歩きはしていない。従って、この情報も日中における安全性に関するものである。

一般的に考えられるアルメニアの安全問題といえば、次のことが挙げられる。

真っ先にあげられるのが、原子力発電所の異常爆発である。チェノブイリの原子力発電であったようなトラブルが起きるかもしれないということである。その理由は、首都エレバンの西側30キロメートルほどの所にチェノブイリ発電所と同じ型の原子力発電システムが使われていることにある。あの事故がまた起きるかもしれないという不安感である。日本にだって原子力発電所はたくさんある。ただ、チェノブイリと違った型の発電所で日本人の管理下にある原子力発電所ということである。原子力発電所ではないが、東海村のJCOではウランの扱いの問題で二人の担当者がなくなっている。チェノブイリの発電所は、問題があっただけに対策が考えられているのかえって安全が期待されるかもしれない。この原子力発電所も最近まで止まっていたらしいが、隣国グルジアへ電力を輸出することになり、運転を再開したらしい。電力不足は日常的といわれる。事前情報なしで突然停電があるといわれる。今回宿泊したホテルでは、夜間停電にあうことはなかった。地方にも2泊したがこちらでも幸いなことに停電問題はなかった。原子力発電所の運転再開でアルメニアの電力不足も軽減したのかもしれない。

次は、交通事故である。アルメニアに自動車が増えたのは最近である。運転手も信号無視が多いといわれる。現在のアルメニアでは、一部の特権階級だけが自動車を購入することができるため、車はスピードを出せる乗り物であるという認識で運転する。速く走らなければ自動車ではないという。日本ほど安全を考えて運転はしないらしい。信号は無視するし、少しでもスキがあれば追い越し、追い抜きは日常茶飯事である。アルメニアの交差点では、青信号になってもよく左右を見て車がこないのを確認してわたらなければならない。

タクシー運転手の運転マナーが悪いようだ。交通渋滞はこのタクシー運転手が原因とも言われる。エレバン市の中心部は、信号を守るが少し、市街地から外れると信号無視もはなはだしい。とにかくまだまだ車中心の社会のようである。しかし、中国の各地と比較すると「それほど悪くともいえない」と言うのが率直な感想である。

地震も危険なもののひとつである。1997年に大きな地震があり北部の都市では、そのときの地震で破壊された跡が修復されずに残されている。同じ地震がまたあるかもしれないという不安がある。日本では毎日のようにどこかで地震が発生している。また、さらに大きな地震が地価じか発生することができないという情報にはこと欠かない。確かに日本でも何時地震が発生するかもしれない不安はある。しかし、アルメニアの建物の耐震構造が気になる。建設中のビルもあるが柱の太さも日本と比べて細い。日本の同じような強度はなさそうである。

政治的には例えばKGBのようなシークレットサービスの存在があると言われる。海外からのスパイ活動には神経を使っているようである。しかし、普通の生活をするにおいて、何か問題があるわけではない。訪問中に問題

を感じたり、被害にあったわけでもない。日本ほど政府の批判など言っても問題にされない国は珍しい存在と言われる。自国の批判をされて快く思わないのは当然である。日本とは国情が異なることを十分注意するに越したことはない。

非常事態の海外脱出であるが最近飛行便が増加している。シリアへの便やルフトハンザがミュンヘンへ週3便飛ぶようになった。陸路では、グルジア経由とイランへの道がある。イランについては、アルメニア人は簡単だが外国人である日本人はイミグレーションには相当時間がかかるらしい。エレバンから、グルジア国境までは道路が悪く6から7時間かかるようである。危険情報のある一部の国境地帯以外は、日本人にとっても問題ないと言えそうである。

町の様子から

首都エレバンは、首都と言っても日本の中小地方都市くらいの感じである。町の中を何度か歩いてみたが危険は全く感じられない。エレバンに数ヶ月滞在したと言う日本人女性にも感想を聞いてみたが危険なことはほとんどないそうである。私が滞在したのは、6月で夜も10時近くまで明るい。夜の8時や9時まで子供たちも外で遊んでいるし、女性も出歩いている。知らない土地なので危険地帯を知らないこともあるが、町の中心部は危険がないようである。滞在中、中心街のレストランで食事をしたが通りを歩く人たちの服装もみんなこぎっぱりしており、危険な雰囲気は全く感じられない。ただ、乞食はやはりいる。現地人も外国人も区別せず寄ってきて手を出す。アルメニア語で何を言っているかわからない。聞いてみるとただ「お金がない」と言っているようである。しかし、表情は穏やかで北京の乞食のようなしつっこさやいやらしさは全くない。

以下次号 乞うご期待！！

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局（広報） t e l 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2、 f a x 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4